

## 2-3 スペーサタイプ (Lタイプ)

装置間に距離がある場合にご使用いただけます。メンテナンスに際し、スペーサを取外して原動機と被動機を切りはなし、作業を容易にします。

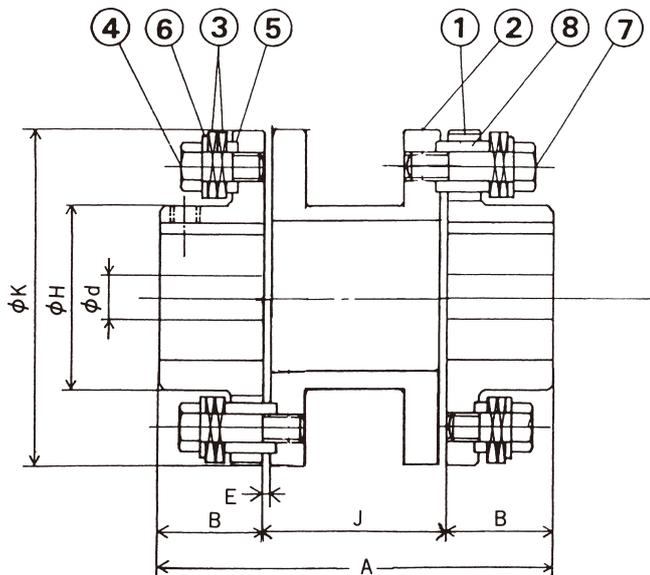
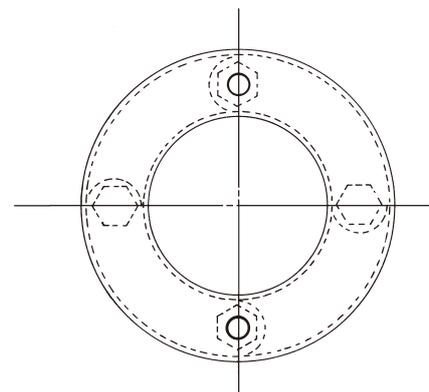


Fig.5



NO.	部品名
1.	ハブ S
2.	スペーサ
3.	板ばね
4.	六角ボルト A
5.	ブッシュ A
6.	ワッシャ
7.	六角ボルト B
8.	ブッシュ B

表3 ケイフレックス Lタイプ 諸元表

型番	定格トルク N·m	下孔 mm	最大軸径 d mm		A mm	B mm	E mm	H mm	K mm	J mm	許容ミスアライメント		
			キー溝	パワー ロック							角度誤差 $\theta$ deg	軸方向変位 mm	平行誤差 $\epsilon$ mm
L-01	10	6	20		72	20.0	2	32	58	32	1	0.5	0.55
-04	40	8	26		86	25.0	2	37	68	36	1	0.6	0.63
-10	100	10	32		89.8	25.4	2	46	81	39	1	1.0	0.68
-18	180	12	35		104.4	28.7	2.5	51	93	47	1	1.3	0.82
-25	250	15	42		120	33.5	3	61	104	53	1	1.5	0.92
-45	450	15	50		144.2	41.1	3	71	126	62	1	1.8	1.08
-80	800	15	60		164.6	47.8	4	84	143	69	0.7	1.0	0.84
-130	1,300	25	74		192.4	57.2	4	106	168	78	0.7	1.1	0.91
-210	2,100	25	83		216	63.5	4	118	194	89	0.7	1.3	1.05
-340	3,400	45	95		249.4	76.2	4	137	214	97	0.7	1.5	1.12
-540	5,400	50	109		286.8	88.9	5	156	246	109	0.7	1.6	1.33
-700	7,000	50	118		337.2	101.6	6	169	276	134	0.7	1.8	1.61
-1000	10,000	50	120		377	111	6	161	276	155	0.7	2.0	1.9
-1500	15,000	60	133		421	133	6	193	308	155	0.7	2.1	1.9
-2000	20,000	70	152		607	218	6	218	346	171	0.7	2.3	2.1

注) 1. 最高回転数はカップリングの伝動能力によって決められます。  
 バランスの調整は施されていません。  
 高速でご使用されバランス調整の必要がある場合は弊社までご連絡下さい。

2. 許容軸方向変位は角度誤差0のときの値です。